

製品名: TUSC2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19435**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 12kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TUSC2 |
| 別名 | TUSC2; C3orf11; FUS1; LGCC; PDAP2; Tumor suppressor candidate 2; Fusion 1 protein; Fus-1 protein; PDGFA-associated protein 2 |
| 遺伝子 ID | 11334.0 |
| SwissProt ID | O75896 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト TUSC2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90 |

背景

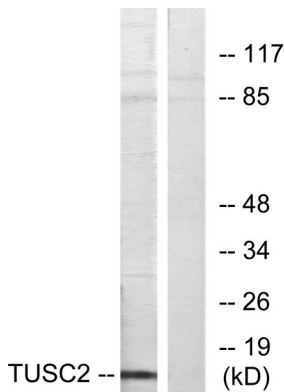
この遺伝子は高度に保存された肺がん候補遺伝子です。この遺伝子に関するその他の情報は現在のところ入手できません。[RefSeq 提

供、2008年7月],機能: ホモ接合型 3p21.3 120kb 領域欠損細胞において、コロニー形成を阻害し、G1 期停止を引き起こし、最終的にアポトーシスを誘導する腫瘍抑制因子として機能する可能性があります。 ,PTM: 腫瘍抑制活性にはミリスチル化が必要です。 ,類似性: TUSC2 ファミリーに属します。 ,組織特異性: 心臓、肺、骨格筋、腎臓、膵臓で強い発現を示し、次いで脳と肝臓で発現が見られ、胎盤で最も低い発現を示します。 ,

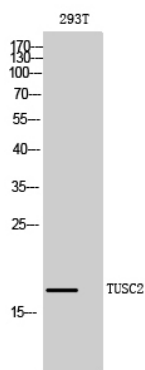
研究分野

細胞生物学、細胞周期、細胞周期阻害剤、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、がん感受性、腫瘍抑制因子、転写因子、がん、腫瘍タンパク質 / 抑制因子

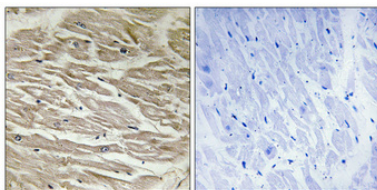
画像データ



TUSC2 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TUSC2 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。